



2023 年度  
第 25 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

誰が本当に  
「体育人」の  
名誉を  
傷つけたのだろうか



スポーツ革新 4 年③  
スポーツ革新の  
時間は  
逆に進む



繰り返される  
幼少年スポーツ過酷行為  
閉鎖的文化を  
変えなければならない



FIFA  
2030 年ワールドカップ  
開催国選定時に  
人権を最優先すべき



高位幹部相次いで  
不当解雇  
全北体育会はなぜ？

KBO  
新人ドラフト受付  
校内暴力関連誓約書・  
生活記録簿提出



## 01 ハンギョレ 2023. 06. 28

## 誰が本当に「体育人」の名誉を傷つけたのだろうか



移住青少年バスケットボール団のグローバルフレンズに初めて会った時、感じた感情は生硬さだった。色とりどりの子供たちが集まって一緒にバスケットボールをする姿に慣れていなかったりもしたが、バスケットボールそのものを楽しんでいるという感じを与える現場は久しぶりだったためだ。プロ・国家代表という名前で激しく競争したり、職業選手になるための針穴を開けるために死闘を繰り広げる他の青少年たちの競技とは明確に違う風景だった。

もちろん、どちらか一方が正しいとか、より良いとは言い難い。運動を職業にする人たちと趣味で楽しむ人たちの間には違いがあるしかない。どちらもスポーツが持つ多様な姿の一つであり、私たちは両方から多様な価値を感じて学ぶことができる。ただ、スポーツ記者として通う現場がややエリートスポーツに偏っていたと思うのは仕方なかった。

スポーツ取材をしていると、よく言われる言葉がある。「現場」「体育人」のような言葉だ。特に先日、3周忌を迎えたトライアスロン国家代表の故チェ・スクヒョン選手がスポーツ暴力に勝てず亡くなった2020年6月26日からは、この言葉がさらに猛威を振るった。スポーツ界の変化を要求する声が大きくなると、既成体育界が「現場を知らず、体育人を無視する話」と対抗したためだ。

彼らが語る現場と体育界は何だろうか。最近、大韓体育会が2027忠清圏夏の世界大学競技大会(U大会)組織委の構成をめぐる見せた姿を見れば、その糸口が見える。大韓体育会は事務総長の人選に反対して署名運動を行い、決議文を出した。市郡区体育会長・京畿団体関係者と懇談会を開き、勢いを誇示した。大韓体育会が反対する事務総長を名誉毀損の疑いで告発までした人物は「体育人の名誉を守るため」と話した。

その頃、移住民スポーツ教室で会ったある指導者はこのように話した。「移住民のスポーツに対する関心が高まるのは本当にいいが、これを体育会や協会ですべてはいいかと思う。このような現場に全く関心のない人々であり、そんなに増えた予算が私たちのような底まで来るとは期待もしない」約20年間、生活体育の現場で活躍してきた彼にとって、体育会と協会は不信の対象に過ぎなかった。既成体育界が語る現場と体育人に含まれなかった「外」でスポーツを伝播する人々の声だった。

このように体育界がスポーツ領域を限定し壁を強固にする間、エリート体育まで斜陽の道に入った。非人気種目はすでに選手需給に限界を感じて久しいし、人気種目も選手不足で苦しんでいる。韓国で生まれ育ったが国籍がないという理由だけで少年体育大会出場権を制限された難民2世シルム選手の金ウエンディ君(11)のような人たちが挫折している間、一方では選手がいなくて廃業する運動部が相次いでいる。フランス・パリで会ったマイナ・グイド(19)は「韓国でスポーツをするためには人生をかけて挑戦しなければならないと聞いた」とし「韓国にいるすべての友達がスポーツを楽しんでほしい」と話した。彼はスポーツは基本権だと繰り返し強調した。今は「皆のためのスポーツ」という哲学を中心に、スポーツ現場

と体育人の概念から拡張する時だ。一人の少年が国籍を理由に大会参加権利まで剥奪される時こそ、体育人の名誉が毀損されたと感じる社会を作らなければならない。

出典：[https://www.hani.co.kr/arti/sports/sports\\_general/1097880.html](https://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/1097880.html)

## 02 ニュース打破 2023. 06. 23

### スポーツ革新4年③ スポーツ革新の時間は逆に進む



惨憺たるもの、骨折り損、無気力、敗北感。

2019年スポーツ革新委員会など体育界の構造改善作業に参加した人々の口からしきりに荒い言葉が出てきた。特に昨年、幼少年選手が自ら命を絶った事件を語る部分では、かろうじて言葉を続けた。「二度と暴力と人権侵害が当然視される過去の体育界に戻らない」として頭を突き合わせた人々だ。

スポーツ革新委員会は2019年体育界セクハラ事態、いわゆるスポーツ MeToo 事態以後、性暴力など体育分野不正根絶対策の一環としてスタートした。体育界の構造全般を革新するために15人の民間委員、5人の次官級官僚が集まった。

当時、民間委員として参加したハム・ウンジュ文化連帯執行委員は、「その時が体育界を変える絶好の機会だった」と話した。金メダルを首にかけた五輪の英雄が性暴力の被害者であることが暴露され、スポーツ人権全般に変化が必要だという国民的関心が集まった。民官委員の間には「少なくとも選手たちが暴力に苦しめられメダルを取ろうとすることはなくならなければならない」という共感が形成された。このような雰囲気の中で革新委は1年にかけて7つの勧告案、52の細部課題を作った。

当時、民間委員として参加したハム・ウンジュ文化連帯執行委員は、「その時が体育界を変える絶好の機会だった」と話した。金メダルを首にかけた五輪の英雄が性暴力の被害者であることが暴露され、スポーツ人権全般に変化が必要だという国民的関心が集まった。民官委員の間には「少なくとも選手たちが暴力に苦しめられメダルを取ろうとすることはなくならなければならない」という共感が形成された。このような雰囲気の中で革新委は1年にかけて7つの勧告案、52の細部課題を作った。

核心は体育界全般の認識と構造を変えることだった。国威宣揚という目標のために選手の人権が犠牲になるいわゆる国家中心のスポーツ政策、勝利至上主義のエリートスポーツ養成政策と決別し、皆が楽しめる、人中心のスポーツ政策を作ることを目標にした。学齢人口の減少と体育忌避現象、またそれによる選手資源不足に対応するために体育界全般の底辺を広げる作業も含まれた。劣悪な雇用環境の中で成績と入試を追うほかはない体育指導者、体育産業従事者に対する処遇改善問題も同時に扱われた。

革新委が出した7回の勧告案はきめ細かく組まれている。1次勧告案にはスポーツ人権侵害対応方案が、2次勧告案ではエリート選手育成中心の学校スポーツシステム改善策が盛り込まれた。3、4次勧告案には差別を禁止し平等を増進する政策、普遍的な基本権としてのスポーツ権を規定する政策を提言した。5次勧告案にはスポーツクラブ活性化などを通じたスポーツ生態系構築方案を、6、7次勧告案にはエリートスポーツシステムと体育団体構造改編を要求した。これに伴い、スポーツ基本法、体育人福祉法、スポーツクラブ法などが施行され、体育人人権保護およびスポーツ不正根絶のための専担機構であるスポーツ倫理センターが設立された。

しかし、4年経った今、スポーツ革新作業は漂流している。体育界は革新委勧告案の内容に反発し、官僚たちは無関心だった。尹錫悦 政府はスポーツ革新委の勧告案を再検討すると公言している状況だ。今年2月、大韓民国体育ビジョン報告会に出席した尹大統領は演説を通じてエリート選手の育成と支援に重点を置いた。

漂流する体育政策の中で最も大きな被害を受けているのは、誰よりも劣悪な人権状況に置かれている幼少年選手たちだ。昨年4月に発生した金浦FC所属のユース選手チョン某君の死は変わっていない体育現場の人権実態がそのまま現れた事例だ。

ニュース打破は、スポーツ革新の道しるべを立てる作業に参加したスポーツ界の関係者たちにあまねく会った。スポーツ革新委民間委員として参加したハム・ウンジュ文化連帯執行委員、西江大学スポーツ心理学科チョン・ヨン Chol 教授、そして2019年現場の人権実態を全数調査した国家人権委員会スポーツ人権特別調査団長、スポーツ人権向上のための制度的基盤を研究してきたキム・デヒ釜慶大学教授などだ。当時、スポーツ革新案に盛り込んだ専門家の悩みが何だったのか、そして現政権に入って感知されるスポーツ革新の逆行が韓国社会にどのような意味を持つのかを尋ねた。

出典：<https://newstapa.org/article/DRPhc>

### 03 聯合ニュース 2023.06.21

#### 繰り返される幼少年スポーツ過酷行為…「閉鎖的文化を変えなければ」



「こんな環境にさらして親と大人として本当にごめんなさい」  
仁川のあるリトル野球団に2年間子供を送っているA君の保護者B氏は21日、聯合ニュースとの通話で「運動する子供たちが虐待されながら訓練する姿はこれ以上見たくない」としてこのように話した。

B氏はリトル野球団で、子供が監督C氏から暴言や暴行などの被害を受けたとし、他の保護者11人と一緒に警察に告訴状を提出した。

警察はC氏を児童福祉法上の児童虐待の疑いで立件して調べている。彼らは子供の所属チームと他のリトル野球団監督であるC氏が運動場を一緒に使う過程で、幼少年選手たちを野球バットと野球ボールなどで暴行し悪口を日常的に言ったと主張した。

このように仁川・京畿地域の幼少年スポーツ現場で指導者や選手間の暴言と暴行、セクハラなどが絶えず、対策作りを要求する声が高まっている。

最近、仁川のある中学校では運動部所属の生徒が同級生から持続的な暴行といじめを受けてきた事実が一步遅れて知られたりもした。

同校運動部所属のD君(16)は昨年5~8月、腹筋を鍛えてあげるという理由でE君(16)のお腹を殴ったり、スパリングを理由に強制的にグローブを挟ませたり、拳を振り回したりしたことが分かった。

学校側は昨年10月、D君に出席停止7日などの処分を下した。警察は告訴状を受け付け、暴行や脅迫などの疑いでD君を在宅起訴し、検察に渡した。この事件は仁川家庭裁判所少年部で審理中だ。

該当学校ではE君など一部の選手が該当運動部コーチから常習的に暴行されたという疑惑も提起され、市教育庁が警察に捜査を依頼した状態だ。

4月にはKリーグ2金浦FC幼少年チーム宿舎で高校1年生選手6人が2年生選手にズボンを下ろさせるなどセクハラをすることも起きた。

金浦FCでは1年前の昨年4月には10代幼少年チーム選手が指導者たちの暴言と同僚たちのいじめがあったという内容の遺書を残して極端な選択をしたりもした。

スポーツ界では軍隊式上命下服文化と閉鎖的な訓練場所など構造的な問題が幼少年スポーツ内の弊害を大きくしたと指摘する。

先輩や監督・コーチが絶対的な権限を持っている状況で、親や選手たちが直接人権侵害事例に問題を提起するのは難しいという意見が多い。

京畿道のあるユースサッカークラブに子供を行かせる保護者のチョン某氏（43）は「最初は子供が趣味で通っていたが、素質と意欲を見せてから真剣に進路を悩んでいる」とし「不当なことに遭ったことがないわけではないが、残念なのは選手側なので現実的に言及すらできない」と吐露した。

また別の保護者のパク某氏（48）も「監督やコーチの目にかなうためには子供の力量以外にも親の現実的な努力が必要だ」とし「辞めたくても子供が同年代の集まりに参加できないのではないかと思い、簡単にそうすることもできない」と打ち明けた。

専門家たちは幼少年スポーツ界に蔓延している暴力の輪を断ち切るためには、指導者たちが踏襲してきた不合理な慣行を正さなければならないと強調する。

世宗大学体育学科のカン・ユウォン教授は「種目を問わず長い間選手生活をしてきて指導者の道に入る場合が多いため、自身が体験した悪習も教育過程でそのまま適用する事例が多い」と指摘した。

カン教授は「種目別協会次元でも暴行防止のための教養教育を義務的に履修するよう定め、選手たちを教えられるよう努力しなければならない」と助言した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230620127500065?input=1195m>

## 04 韓国 NGO 新聞 2023. 06. 22

### 「FIFA、2030 年ワールドカップ開催国選定時に人権を最優先すべき」



人権団体、労働組合、選手およびファンで構成されたグローバル連合は、国際サッカー連盟(FIFA)が 2030 年男子サッカーワールドカップの開催地を選定する際、人権を最優先考慮事項にすることを促したとアムネスティが 22 日明らかにした。

「スポーツ及び権利連合」(Sport & Rights Alliance)はアムネスティが依頼し、15 カ国で実施した世論調査結果を入札評価手続きに反映するよう FIFA に要請した。

アンケート調査によると、回答者の 53%が人権が開催地選定時に優先的に考慮されなければならないと答えた。FIFA が基盤を置くスイスでは 68%を記録した。

開催地を決める核心要素として人権を挙げた人が「体育団体の商業的収益」を優先順位に挙げた人 13%に比べて 4 倍以上多かった。

アムネスティ・インターナショナルのステイブ・コックバーン経済社会正義局長は「大衆はワールドカップが彼らが愛する試合を記念し、決して搾取、抑圧または差別のプラットフォームを提供しないよう人権が最優先順位になることを望んでいることが明らかだ」と話した。

FIFA は 2018 年と 2022 年大会をそれぞれロシアとカタールに誘致する過程で議論が起こると、2026 年ワールドカップ招致で初めて人権基準を導入した。

アムネスティ・インターナショナルは、このような基準が再び含まれるものと予想されるが、FIFA の 2030 年開催国選定から除外されたり無視されたりする恐れがあると述べた。

FIFA が 2020 年に人権約束を含む「持続可能性戦略」を開発したにもかかわらず、2022 年カタールワールドカップと関連して広範囲な人権侵害があった。数十万人の移住労働者がワールドカップを準備する過程で体験した虐待に対する補償を依然として受けられずにいる。

「サッカーサポーターズヨーロッパ」のローナン・エバイン専務は「私たちサッカー支持者は自身の権利が尊重されるだけでなく労働者が適切な条件を保障され言論人が自由に報道でき人権活動家が恐れなく声を出せるという拘束力のある保障を望む」と話した。

スポーツ及び権利連合のアンドレア・フローレンス理事は「2017 年から FIFA は人権責任を認識する上で重要な進展を遂げたが、人権評価が体系的に適用されなかった」とし「FIFA が自身の政策と規定に対して真剣さを示すために 2030 年ワールドカップ開催地を選定する際、人権を最優先に置くことが重要だ」と指摘した。

出典：<http://www.ngonews.kr/news/articleView.html?idxno=142035>

## 05 全州 MBC 2023. 06. 26

### 高位幹部相次いで「不当解雇」--全北体育会はなぜ？



◀アンカー▶

全北体育会が最近不当解雇で問題になっています。

不正を問題視して複数の幹部級職員を解雇したが、むしろ不当解雇という労働当局の判断が繰り返されているためです。

年間 250 億ウォンを超える補助金で運営される公共組織のずさんな人事行政がまな板上がっています。チョ・スヨン記者が取材しました。

◀レポート▶

昨年最高位級に該当する本部長級職員を解雇した全北体育会、

職場内いじめと誤った業務推進費執行が理由でしたが、労働当局は当時の解雇が不当だったと判断しました。

当事者に最小限の疎明機会も与えない手続き上の瑕疵を問題視したのです。

[キムスンミン/元全北体育会本部長(解雇当事者、昨年 6 月)]

「度を超えるパワーハラ以上の人権蹂躪だと思います。」

当事者が業務に復帰すると、全北体育会は今年人事委員会を再び招集しました。

今回は懲戒手続きを整え同じ幹部職員に疎明機会を保障したが、

最終結論はもう一度の解雇処分でした。

[全北体育会関係者]

「同じように被害者が職員じゃないですか。職員たちが被害者なので敏感な事項だと思います。一人のせいで色んな人が被害を受けたじゃないですか。」

しかし労働当局の判断は、今回も不当解雇でした。

一部の誤りが認められるだけで、解雇は行き過ぎたという判断です。

体育会の不当解雇論難はこれで終わりではありません。

選手たちの体力状態を分析している全北体育会スポーツ科学センターも部署長空席事態が長くなっています。

該当幹部が仕事を怠り超過勤務手当を不当に受け取ったという理由などで今年解雇されたのです。

これに対する労働当局の判断、また不当解雇でした。

全北体育会が問題視した不正の大部分は客観的資料で立証されないということです。

相次ぐ不当解雇論難に、ずさんな人事行政がまな板に上がった全北体育会は極度に言葉を慎みました。

[全北体育会関係者]

「(紛争手続きが) 進行中なので、大きな被害を受ける可能性があるじゃないですか。だから最終的に出たことで話さない.. そういう状況です。」

現在、体育会は会長が懲戒を審議する人事委員会構成の全権を握っている状況、

内部を取り締まり、派閥作りのために懲戒を乱用するのではないかと指摘だけが高まっています。

MBC ニュースのチョ・スヨンです。

出典：<https://www.jmbc.co.kr/news/view/33757>

## 06 ニュー시스 2023.06.26

### KBO 新人ドラフト受付・・・校内暴力関連誓約書・生活記録簿提出



韓国野球委員会（KBO）が26日から2024新人ドラフト指名参加申請受付を開始した。

申請対象者は大韓野球ソフトボール協会（KBSA）に登録された高校または大学卒業予定選手および関連 KBO 規約に従って指名参加が認められた選手のうち指名参加を希望する人たちで、申請期間は同日から15日午後6時までだ。

ドラフトは9月14日に開かれる。

今回の新人ドラフトは昨年に続き、既存の1次指名と2次指名が統合された全面ドラフト方式で計11ラウンドまで進行される。

また、4年制（3年制含む）大学2年生に在学中の選手の新人ドラフト参加を認める「アーリードラフト」制度が施行される。アーリードラフト参加を希望する選手は、2年生が表記された在学証明書または2年生であることを証明できる学校公式文書とともに、学校長推薦書のコピーを追加提出すれば良い。

受付方法は参加資格を備えた選手が直接 KBO 新人指名対象選手登録システムウェブサイトへ接続し、本人認証および会員登録後に申請書を提出すれば良い。

参加申請のためには申請書と共に校内暴力を根絶するための文化体育観光部の学校運動部暴力根絶およびスポーツ人権保護体系改善方案履行により在学中懲戒、負傷履歴を含め校内暴力関連誓約書、高等学校生活記録簿を本人同意の下に提出しなければならない。

この他、参加申請関連の詳細は KBO 新人指名対象選手登録システムウェブサイトで確認できる。

出典：[https://newsis.com/view/?id=NISX20230626\\_0002352845&cID=10502&pID=10500](https://newsis.com/view/?id=NISX20230626_0002352845&cID=10502&pID=10500)

## 07 週間スポーツニュース

スポーツ界の人種差別、見過ごせない

<http://www.labortoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=215832>

オイルマネー、スポーツを支配する

<https://www.kukinews.com/newsView/kuk202306230072>

世宗市障害者体育、全国大会メダル独り占め

[https://newsis.com/view/?id=NISX20230627\\_0002353476&cID=10818&pID=10800](https://newsis.com/view/?id=NISX20230627_0002353476&cID=10818&pID=10800)

サッカー指導者採用面接 1 位なのに…高陽市体育会長の一言で脱落？

<https://news.tf.co.kr/read/national/2026327.htm>

光州市体育会「選管出身」外部監査官委嘱

<https://www.news1.kr/articles/5088585>

「障害者体育の発展努力、10 点満点で 11 点！」IPC パーソンズ委員長の賛辞

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202306270100206390026601&servicedate=20230626>

陽川区民体育施設「無料シャトルバス」3 年ぶり運行再開

<https://view.asiae.co.kr/article/2023062707012731902>

60 代で履いたバレエシューズ…ベビーブーム世代「シニアスポーツ」の場面を変える

[https://www.hani.co.kr/arti/society/society\\_general/1097426.html](https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1097426.html)

全州教育大学、大運動場を市民に開放…「生活体育の参加機会拡大に期待」

<https://www.news1.kr/articles/5088927>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>